

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ペットビジネス学科
教科名：グルーミング実習(1)～(9)		塩田恵理子 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	前期終了時の実技試験で、ダックス1頭2時間以内にベーシック作業（爪切り・耳掃除・バリカン・ブラッシング・シャンピング・ペイジング）が仕上げられること		18単位 288時数
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価		
回	授業内容		
1	グルーミング概論・講義		
2	グルーミング概論・講義		
3	グルーミング概論・講義		
4	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
5	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
6	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
7	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
8	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
9	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
10	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
11	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
12	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
13	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
14	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
15	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
16	前期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ペットビジネス
教科名：グルーミング実習(1)～(9)		塩田恵理子 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	後期終了時の実技試験で、トイプードル1頭2時間以内にベーシック作業、		18単位 288時数
	カットが2.5時間以内に仕上げられること		
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価		
回	授業内容		
1	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
2	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
3	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
4	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
5	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
6	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
7	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
8	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
9	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
10	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
11	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
12	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
13	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
14	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
15	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨークー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ペットビジネス学科
教科名：グルーミング実習(10)		塩田恵理子 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	前期終了時の実技試験で、ダックス1頭2時間以内にベーシック作業（爪切り・耳掃除・		2単位 32時数
	バリカン・ブラッシング・シャンピング・ペイジング）が仕上げられること		
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価		
回	授業内容		
1	グルーミング概論・講義		
2	グルーミング概論・講義		
3	グルーミング概論・講義		
4	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
5	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
6	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
7	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
8	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
9	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
10	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
11	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
12	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
13	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
14	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
15	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。 ダックス1人で2時間以内を目指す。		
16	前期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：スタイリングⅠ（１）（２）		牧野 博之 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	ファッション業界で必要とされる知識を使用して、トレンド感のあるスタイリングが提案できる生地、色名、洋服のディティール、アイテム名が理解できている。		4単位 64時数
	就職先のSNSを提案＆展開できるスキル。		
回	授業内容	備考	
1	スタイリング概要 名簿用撮影		
2	ディスプレイスタイリング1		
3	就活エントリーシート用 撮影		
4	洋服のディテール		
5	ディスプレイスタイリング2		
6	洋服のフィッティング		
7	服飾雑貨の広告1 ラフ制作＆プレゼン		
8	洋服のメンテナンス		
9	服飾雑貨の広告2 撮影		
10	年代別ファッション1		
11	服飾雑貨の広告 撮影		
12	雑誌研究		
13	夏休み宿題		
14	筆記テスト		
15	実技テスト		
16	前期リフレクション 前期まとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：スタイリングⅠ（１）（２）		牧野 博之 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	ファッションのプロとして必要な知識＆スキルの習得。		4単位 64時数
	ファッションの楽しさを授業を通じて体感してもらう。		
	SNS、WEB展開可能な「映えるスタイリング」を制作する授業構成。		
回	授業内容	備考	
1	ディスプレイスタイリング①		
2	ディスプレイスタイリング②		
3	リアルショップSNS用撮影①		
4	リアルショップSNS用撮影②		
5	XmasDMスタイリング プレゼン		
6	アートとファッション秋冬巻き物スタイリング①		
7	XmasDMスタイリング 撮影		
8	アクセサリーのスタイリング		
9	アイテムスタイリング①		
10	アイテムスタイリング②		
11	アイテムスタイリング③		
12	アートとファッション秋冬巻き物スタイリング②		
13	トレンド予想（2025SS）		
14	後期テスト		
15	後期テスト振り返り		
16	年間まとめ		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
			その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科	
教科名：ファッション販売能力検定対策3級		山脇 千穂 実務経験有	■ 1年前期	
到達 目標	3級の内容の理解 90%以上目指す。			2単位 32時数
	来年度の3級も踏まえた対策授業を実施。			
回	授業内容		備考	
1	A科目1章ファッション販売知識①			
	教科書の内容、問題集を解説			
2	A科目1章ファッション販売知識②			
	教科書の内容、問題集を解説			
3	B科目2章ファッション販売技術			
	小テスト、プレゼント包装とのしのかけ方			
4	B科目3章商品知識①			
	教科書の内容、問題集を解説			
5	B科目3章商品知識②			
	教科書の内容、問題集を解説			
6	B科目3章商品知識③			
	教科書の内容、問題集を解説			
7	B科目3章商品知識④			
	教科書の内容、問題集を解説			
8	B科目4章売り場づくり			
	教科書の内容、問題集を解説			
9	A科目5章マーケティング			
	教科書の内容、問題集を解説			
10	A科目6章販売スタッフの業務			
	教科書の内容、問題集を解説			
11	前期試験A科目1			
	筆記試験			
12	前期試験B科目1			
	筆記試験			
13	試験解説			
	試験解説			
14	前期試験A科目2			
	筆記試験			
15	前期試験B科目2			
	筆記試験			
16	試験解説			
	試験解説			

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：販売接客ロールプレイング		山脇 千穂 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	販売ロープレを取り入れながら、接客や商品の知識を学び、人間力をつけていく。		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	概要の理解		
	理想の販売員について・6分間の中で何をするか？		
2	接客用語・敬語・動画視聴		
	接客で使う敬語や業界用語の理解		
3	ロープレ		
	アイテムを決めて台本を書いてみよう！		
4	リサーチ		
	梅田店舗リサーチ（プロの接客を受けてみよう モール編）		
5	ロープレ(1)		
	リサーチレポート・発表・前回と同じアイテムで改善した台本でロープレ		
6	ロープレ(2)		
	ニーズを引き出すロープレ		
7	ロープレ(3)		
	フィッティング（採寸）ロープレ・金銭授受・ラッピング実習		
8	ロープレ(4)		
	自分の服を持ってきて、お勧めの紹介ロープレ		
9	ロープレ(5)		
	お客様設定ロープレ		
10	リサーチ		
	梅田接客リサーチ（プロの接客を受けてみよう 百貨店編）		
11	ロープレ(6)		
	トレンドアイテムロープレ		
12	ロープレ(7)		
	自分の好きなアイテムを使ってロープレ		
13	ショップの展開方法		
	関西コレクションの出展ブランドの研究		
14	前期試験		
	筆記試験・ロープレ試験		
15	振り返り(1)		
	試験の解説		
16	振り返り(2)		
	入学時と前期終了時でどう成長したのか		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：販売接客ロールプレイング		山脇 千穂 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	ファッション販売能力検定の内容を盛り込みながら、インプットとアウトプットを繰り返し、 販売接客の技術を向上させる		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	動画視聴		
	2年のパルカップの動画視聴		
2	YES NO 質問		
	はいかいいえで答えられる質問で一人ずつ、どういう設定の人物かを当てていく		
3	ロープレ(1)		
	前期の内容を踏まえながら実演		
4	ロープレ(2)		
	前期の内容を踏まえながら実演		
5	お互いの弱い部分を指摘		
	なりたい自分、到達目標を明確に。自分の現状を知る。		
6	商品知識の習得(1)		
	ファッション販売能力検定の内容を盛り込みながら、商品の知識を深める		
7	商品知識の習得(2)		
	ファッション販売能力検定の内容を盛り込みながら、商品の知識を深める		
8	商品知識の習得(3)		
	ファッション販売能力検定の内容を盛り込みながら、商品の知識を深める		
9	販売技術・売り場づくりの習得		
	ファッション販売能力検定の内容を盛り込みながら、売り場づくり		
10	ロープレ(3)		
	一人ずつ実演		
11	ロープレ(4)		
	一人ずつ実演		
12	ロープレ(5)		
	一人ずつ実演		
13	ロープレ(6)		
	一人ずつ実演		
14	後期試験		
	ロープレ試験		
15	振り返り(1)		
	試験の動画を見て自己・他己評価		
16	振り返り(2)		
	総まとめと2年生に向けての抱負		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：マネジメント検定（マーケティング）		倉原 照幸 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	本授業は、経営マネジメントを学ぼうとする学生が、経営学検定（マネジメント検定）のマーケティングを学ぶことで、ビジネスパーソンが身につけておくべき経営に関する知識や問題解決能力を養います。		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	マーケティングのコンセプト(1)		
	(1) マーケティングの重要性 (2) マーケティングの定義		
2	マーケティングのコンセプト(2)		
	(1) マーケティングの考え方の時代的変遷 (2) 戦略とマーケティング		
3	マーケティング・リサーチと標的市場(1)		
	(1) 業績評価と顧客の視点 (2) マーケティング・リサーチ		
4	マーケティング・リサーチと標的市場(2)		
	(1)購買行動に影響する要因 (2) 消費者同士の相互作用の購買行動への影響		
5	マーケティング・リサーチと標的市場(3)		
	(1) 消費者の購買決定プロセス(2) 組織の購買行動の影響要因		
6	マーケティング・リサーチと標的市場(4)		
	(1) 消費者の購買決定のタイプ(2) 組織における購買決定プロセス		
7	マーケティング・リサーチと標的市場(5)		
	(1)市場細分化と顧客ターゲット(2) 組織購買における意思決定者の役割		
8	マーケティング・リサーチと標的市場(6)		
	(1)ターゲティング(標準化)ー市場セグメントの選定方法(2) ポジショニング		
9	マーケティング・プログラム(1)		
	(1)製品概念の変貌とサービスの重要性 (2) 製品ミックス		
10	マーケティング・プログラム(2)		
	(1)新製品開発 (2) ブランド		
11	価格戦略(1)		
	(1) 価格戦略の意味 (2) 価格決定のメカニズム		
12	価格戦略(2)		
	(1) 価格決定の手法 (2) 顧客からみた価格情報		
13	チャンネル戦略		
	(1)流通の機能 (2) マーケティング・チャネルの経済的役割		
14	期末テスト		
	期末テスト		
15	総復習(1)		
	総復習(1)		
16	総復習(2)		
	総復習(2)		

成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
			その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：マネジメント検定初級(1)(2)		倉原 照幸 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	本授業は、経営マネジメントを学ぼうとする学生が、基礎から学ぶために		4単位 64時数
	経営学検定（マネジメント検定）の初級テキストを学ぶことで、初級レベル		
	での合格を目指していきます。		
回	授業内容	備考	
1	企業と経営(1)		
	(1)企業と経営の概念(2)企業の部門形成と経営者・管理者の役割		
2	企業と経営(2)		
	(1)企業と経営の概念(2)企業の部門形成と経営者・管理者の役割		
3	企業・会社の概念と諸形態(1)		
	(1)企業の法律形態と経済形態(2)日本における会社の種類		
4	企業・会社の概念と諸形態(2)		
	(1)企業の法律形態と経済形態(2)日本における会社の種類		
5	所有・経営・支配と経営目的(1)		
	(1)株式会社の発展と経営機能の分化(2)経営者型企业と経営目的		
6	所有・経営・支配と経営目的(2)		
	(1)株式会社の発展と経営機能の分化(2)経営者型企业と経営目的		
7	会社機関とコーポレート・ガバナンス(1)		
	株式会社の機関とコーポレート・ガバナンス		
8	会社機関とコーポレート・ガバナンス(2)		
	(1)監査役会の機能と実態(2)取締役会改革と執行役員制		
9	会社機関とコーポレート・ガバナンス(3)		
	(1)指名委員会等設置会社(2)監査役等委員会設置会社		
10	日本型企业システム(1)		
	(1)日本型企业システムの特質と課題(2)稟議的経営と日本型経営		
11	日本型企业システム(2)		
	(1)メイン・バンク制度と株式相互持ち合い(2)日本型企业統治		
12	経営戦略の体系と理論(1)		
	(1)戦略概念(2)経営戦略論の系譜		
13	経営戦略の体系と理論(2)		
	(1)戦略概念(2)経営戦略論の系譜		
14	期末テスト		
	期末テスト		
15	総復習(1)		
	総復習(1)		
16	総復習(2)		
	総復習(2)		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：日本の企業経営Ⅰ・Ⅱ		倉原 照幸 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	事例研究を中心に、企業経営のあり方について実践的な事例を取り上げて授業を行う。		4単位 64時数
	毎回、1人の経営者を取り上げ考え方を学ぶ。		
	色々な経営者の考え方をすることで、会社運営について学ぶ。		
回	授業内容	備考	
1	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
2	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
3	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
4	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
5	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
6	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
7	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
8	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
9	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
10	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
11	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
12	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
13	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
14	事例研究		
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ		
15	まとめ(1)		
	これまでの授業の復習と総まとめ		
16	まとめ(2)		
	これまでの授業の復習と総まとめ		

成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
			その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：アクティブラーニング		坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	一方向的な講義を聴くだけでなく、書く、話す、発表するなど能動的な学習を行う		2単位 32時数
	ための講義である。いくつかの単元に分解し、それぞれのテーマに沿った		
	講義に参加しながら、個々人の興味を引き立てるように行う。		
回	授業内容	備考	
1	ガイダンス		
	講義概要、今後の準備について		
2	チームビルディング(1)		
	マネジメントに関連するゲームをを通じて、コミュニケーション力を磨く(1)		
3	チームビルディング(2)		
	マネジメントに関連するゲームをを通じて、コミュニケーション力を磨く(2)		
4	チームビルディング(3)		
	マネジメントに関連するゲームをを通じて、コミュニケーション力を磨く(3)		
5	ビジネスプラン(1)		
	ビジネスプランを作成していこう(1)個別作成		
6	ビジネスプラン(2)		
	ビジネスプランを作成していこう(2)		
7	ビジネスプラン(3)		
	ビジネスプランを作成していこう(3)		
8	ビジネスプラン(4)		
	ビジネスプランを作成していこう(4)		
9	ビジネスプラン(5)		
	ビジネスプランの作成(ブラッシュアップ)		
10	ビジネスプラン(6)		
	ビジネスプランの作成(ブラッシュアップ)		
11	ビジネスプラン(7)		
	チームによるビジネスプランコンテスト		
12	ビジネスプラン(8)		
	チームによるビジネスプランコンテスト		
13	ビジネスプラン(9)		
	全国ビジコンコンテスト参加者決定のプレゼンテーション審査会		
14	ビジネスプラン(10)		
	全国ビジコンコンテスト参加者決定のプレゼンテーション審査会		
15	ビジネスプラン(11)		
	全国ビジコンコンテスト参加者決定のプレゼンテーション審査会		
16	振り返り		
	振り返り		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：フラワービジネス
教科名：フラワーデザイン実習 (1) (2) (3) (4) (5)		西河友美 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	フラワーデザインの知識や技術、フラワー産業としての花流通を学ぶ		10単位 160時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	木下恵子氏デモンストレーション見学		
2	【A・B・C】造形バリエーション		
3	【A】テーブルセンターピース①（ラウンド）		
4	【C】身に着けるオシャレな花（ツープイント）		
5	【A】年中行事の花（母の日）ラッピング技術		
6	【A】テーブルセンターピース②（ホリゾン）		
7	【B】ブライダルブーケ①（ラウンド）		
8	【B】ブライダルブーケ②（キャスケード）		
9	【B】ブーケ（花束）①（スパイラル）		
10	【B】ブーケ（花束）②（パラレル）		
11	【A】ジオメトリック（バーティカル）		
12	フラワーワーク①（フラワーデザイナー）		
13	フラワーワーク②（フラワーデザイナー）		
14	フラワーワーク①（フローリスト）		
15	フラワーワーク②（フローリスト）		
16	前期試験（木下恵子氏審査）		

成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
			その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：フラワービジネス
教科名：フラワーデザイン実習 (1) (2) (3) (4) (5)		西河友美 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	年中行事の花を学ぶとともにN F D検定3級取得を目指す		10単位 160時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	フラワー装飾技能士3級【A B C】		
2	N F D 3級パターン【A】①（共同形態）		
3	N F D 3級パターン【A】②（並行ー装飾的）		
4	N F D 3級パターン【A】③（トライアングラー）		
5	N F D 3級パターン【B】①（丸い花束）		
6	N F D 3級パターン【B】②（モダンー装飾的ブーケ）		
7	【A】年中行事の花①（クリスマス リングアレンジ）		
8	【A】年中行事の花①（クリスマス リース）		
9	【A】年中行事の花①（迎春門松アレンジ）		
10	【A】年中行事の花①（迎春注連縄飾り		
11	復興支援・花育事業参加		
12	N F D 3級本番トライアル①		
13	N F D 3級本番トライアル①		
14	N F D 3級本番トライアル①		
15	N F D 3級本番トライアル④		
16	後期試験（木下恵子氏審査）		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能学Ⅰ・Ⅱ		栗田 和恵 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	動物の器官の位置や形、働きを学び、動物看護師に必要な知識の習得を目指す。		4単位 64時数
回	授業内容	備考	
1	概要		
	機能形態学とは、系統について		
2	細胞の構造(1)		
	細胞を分類する(核)		
3	細胞の構造(2)		
	細胞小器官		
4	細胞の構造(3)		
	細胞膜		
5	組織(1)		
	上皮組織		
6	組織(2)		
	結合組織		
7	組織(3)		
	神経組織		
8	組織(4)		
	支持組織		
9	骨格(1)		
	骨の構造や骨の名称		
10	骨格(2)		
	関節と筋肉		
11	感覚器(1)		
	眼の構造		
12	感覚器(2)		
	耳の構造		
13	感覚器(3)		
	鼻の構造		
14	前期試験		
	筆記試験		
15	振り返り(1)		
	理解できなかったところを復習		
16	振り返り(2)		
	授業のまとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能学Ⅰ・Ⅱ		栗田 和恵 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	循環器系・消化器系・泌尿器系・内分泌系について学ぶ。		4単位 64時数
回	授業内容	備考	
1	循環器系(1)		
	心臓の構造(外観)		
2	循環器系(2)		
	心臓の構造(内観)		
3	循環器系(3)		
	血管の種類		
4	循環器系(4)		
	体循環		
5	循環器系(5)		
	肺循環		
6	循環器系(6)		
	胎子循環		
7	消化器系(1)		
	口から胃まで		
8	消化器系(2)		
	小腸・大腸		
9	消化器系(3)		
	肝臓と膵臓		
10	泌尿器系(1)		
	腎臓の構造		
11	泌尿器系(2)		
	ネフロン		
12	内分泌系(1)		
	視床下部ー下垂体経路のホルモン		
13	内分泌系(2)		
	それ以外のホルモン		
14	後期試験		
	筆記試験		
15	振り返り(1)		
	理解できなかったところを復習		
16	振り返り(2)		
	授業のまとめ		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
			その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床検査学実習		泉 千尋 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	臨床検査学で学ぶ内容の実践		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	顕微鏡の扱い方		
	顕微鏡を正しく扱えるようになる		
2	糞便検査：硬度・臭気・色調		
	糞便の一般性状を記録できるようになる		
3	糞便検査：ウェットマウント標本の作製		
	ウェットマウント標本を正しく作製できるようになる		
4	糞便検査：消化状態の観察		
	消化状態を正しく評価できるようになる		
5	糞便検査：細菌状態の観察		
	腸内の細菌叢を正しく評価できるようになる		
6	尿検査：採尿方法		
	各種採尿法を正しく実施できるようになる		
7	尿検査：物理化学的性状		
	尿の物理化学的性状を正しく評価できるようになる		
8	尿検査：尿沈査		
	尿沈査を鏡検し正しく評価できるようになる		
9	血液検査：血液塗抹標本の作製		
	血液塗抹標本を正しく作製できるようになる		
10	血液検査：白血球百分比の算出		
	血液塗抹標本にて白血球百分比を正しく評価できるようになる		
11	血液検査：生化学検査		
	血液生化学検査が正しく実施できるようになる		
12	細胞診断検査：検体の採取		
	細胞診断検査の材料を正しく採取できるようになる		
13	細胞診断検査：標本の作製		
	細胞診断のための標本を正しく作製できるようになる		
14	前期試験		
	授業の理解度を確認する		
15	振り返り(1)		
	試験の解説		
16	振り返り(2)		
	総まとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床検査学実習		泉 千尋 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	血液検査について知識と技術の習得		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	血液検査実習の説明		
	実習の進め方など		
2	CBC(1)		
	血漿タンパクの測定		
3	CBC(2)		
	比重の測定		
4	CBC(3)		
	セルタックの説明と操作に仕方		
5	CBC(4)		
	セルタックの検査結果の考察		
6	CBC(5)		
	血液塗抹標本の作製の説明		
7	CBC(6)		
	血液塗抹標本の作製・・・押しガラス法		
8	CBC(7)		
	血液塗抹標本の作製・・・引きガラス法（スライドアガラス・カバーガラス）		
9	CBC(8)		
	塗抹標本の染色と観察		
10	CBC(9)		
	塗抹標本の観察（好中球・リンパ球）		
11	CBC(10)		
	塗抹標本の観察（単球・赤血球）		
12	CBC(11)		
	塗抹標本の観察（好酸球・好塩基球）		
13	生化学検査(1)		
	ドライケムの操作と検査結果の考察(1)		
14	生化学検査(2)		
	ドライケムの操作と検査結果の考察(2)		
15	後期試験		
	授業の理解度を確認する		
16	振り返り		
	試験の解説・総まとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学実習Ⅰ		泉 千尋 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	内科診療の補助に必要な基礎知識の実践		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	実習室内の衛生管理		
	診察台や実習室の衛生管理が実施できるようになる		
2	犬の保定の基本		
	内科診療に必要な基本的保定（犬）が実践できるようになる		
3	猫の保定の基本		
	内科診療に必要な基本的保定（猫）が実践できるようになる		
4	体重・体温・体表リンパ節		
	体重・体温を計測し、体表リンパ節の触知ができるようになる		
5	BCS・ツルゴールテスト		
	体型や脱水状態が正しく評価できるようになる		
6	股動脈圧・CRT		
	股動脈の触知や毛細血管再充満時間の観測ができるようになる		
7	器具の扱い（体温計・聴診器）		
	診察に用いる器具の扱いを習得する		
8	器具の扱い（シリンジ・注射針）		
	診察に用いる器具の扱いを習得する		
9	心音と呼吸音の聴取		
	正しく胸部聴診ができるようになる		
10	神経学的検査		
	神経学的検査が正しく実施できるようになる		
11	皮膚検査		
	搔把試験などの各種皮膚検査が正しく実施できるようになる		
12	眼科検査		
	シルマーティアートテストなどの眼科検査が正しく実施できるようになる		
13	外耳道検査		
	耳鏡検査や耳垢検査が正しく実施できるようになる		
14	前期試験		
	授業の理解度を確認する		
15	振り返り(1)		
	試験の解説		
16	振り返り(2)		
	総まとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学実習Ⅰ		泉 千尋 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	病院で行われている検査業務について学ぶ		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	目の検査(1)		
	目的・器具		
2	目の検査(2)		
	角膜検査		
3	目の検査(3)		
	流涙量検査		
4	真菌検査(1)		
	検査の目的・器具		
5	真菌検査(2)		
	顕微鏡検査・培養		
6	スメアー検査(1)		
	目的・器具		
7	スメアー検査(2)		
	性周期のチェック		
8	血液型について(1)		
	目的やキットの扱い方		
9	血液型について(2)		
	凝集検査		
10	神経学的検査(1)		
	目的		
11	神経学的検査(2)		
	神経の成り立ちや怨嗟の意義		
12	神経学的検査(3)		
	様々な検査のやり方		
13	死後の対応		
	死後の始末や飼い主への対応		
14	後期試験		
	授業の理解度を確認する		
15	振り返り(1)		
	試験の解説		
16	振り返り(2)		
	総まとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物医療コミュニケーション		古谷 博子 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	動物医療現場における効果的なコミュニケーションについて学ぶ。		2単位 32時数
	飼い主からの事前問診の方法、入院動物の様態説明、院内スタッフ間での情報共有		
	や連携など、さまざまな場面で求められるコミュニケーションスキルを習得する。		
回	授業内容	備考	
1	動物医療コミュニケーション概論		
	コミュニケーションとはなにか		
2	獣医療面接(1)		
	傾聴、受容、共感		
3	獣医療面接(2)		
	対人コミュニケーション、動物医療者としてのコミュニケーション		
4	獣医療面接(3)		
	動物看護の職域と業務範囲		
5	院内コミュニケーション(1)		
	インフォームドコンセント、問診		
6	院内コミュニケーション(2)		
	報告・連絡・相談		
7	クライアントエデュケーション(1)		
	動物にとっての福祉・健康・QOL		
8	クライアントエデュケーション(2)		
	グリーフケア		
9	接遇スキル(1)		
	言葉遣い、身だしなみ		
10	接遇スキル(2)		
	受付対応、会計、電話対応、トラブル対応		
11	院内業務(1)		
	伴侶動物保険について、保険請求と対応		
12	院内業務(2)		
	動物病院における資源管理と情報サービス管理		
13	院内業務(3)		
	愛玩動物看護師のキャリアマネジメント		
14	前期試験		
	筆記試験		
15	振り返り		
	試験の解説		
16	総まとめ		
	授業内容のまとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可 ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。